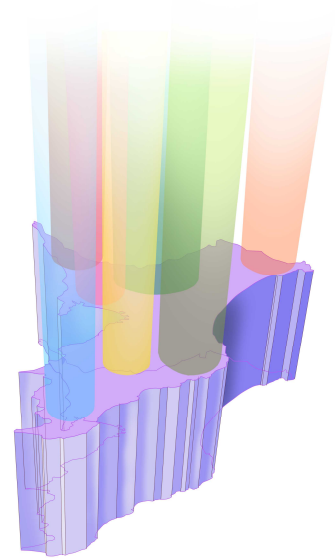




県立学校改革推進プラン

第2次実施プログラム



平成26年3月
千葉県教育委員会

目 次

第2次実施プログラムについて	1
----------------	---

I 魅力ある県立学校づくりの推進	2
------------------	---

1 普通科及び普通系専門学科・コース	2
(1) グローバルスクールの設置	
(2) 理数に関する学科の設置	
2 職業系専門学科・コース	4
(1) 福祉教育の充実	
3 総合学科	5
(1) 総合学科の設置	
4 社会のニーズに対応した教育	6
(1) 観光に関するコースの設置	
(2) 地域連携アクティブスクールの設置	

II 県立学校の適正規模・適正配置	8
-------------------	---

全日制高校の配置（統合）	8
--------------	---

III 県立学校改革推進プランの進捗状況	10
----------------------	----

第2次実施プログラムについて

県教育委員会では、平成 24 年度以降の県立学校改革を進めるため、平成 24 年 3 月に新たな計画となる「県立学校改革推進プラン」を取りまとめました。

本プランは、平成 24 年度を初年度として、10 年後の平成 33 年度を目標年次とし、実施に当たっては、平成 24 年度からの 5 年間（前期）と、平成 29 年度からの 5 年間（後期）に分けて、実施プログラムに基づき推進することとしております。

平成 24 年 3 月に策定した「第 1 次実施プログラム」では、生徒減少の著しい地域への対応や雇用状況・社会構造の変化への対応など、本県県立高校を取り巻く状況や課題等を踏まえ、前期に実施する高校改革のうち、早期に実施すべき具体計画について取りまとめました。

このたび、本県県立高校の改革を引き続き推進するため、「第 1 次実施プログラム」に続く新たな具体計画として、前期及び後期に実施すべき高校改革のうち、検討を終えた内容について、「第 2 次実施プログラム」として取りまとめました。

なお、今後も引き続きプランに基づき、実施すべき高校改革について検討を進め、随時公表し、その都度パブリックコメントなどの実施により、幅広く御意見をいただく予定としております。

また、検討に際しては、地域の産業や社会において求められる人材の把握に努めるとともに、各種産業がバランスよく成り立っている本県の現状に比して職業系専門学科で学ぶ生徒の割合が低いことや、千葉県産業教育審議会の報告書において、産官学の連携強化などによる産業教育の活性化の必要性が報告されていることも踏まえてまいります。

I 魅力ある県立学校づくりの推進

1 普通科及び普通系専門学科・コース

(1) グローバルスクールの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備考
成田国際	27年度	普通科 国際関係に関する学科	・グローバルスクールを設置

【再編の内容】

- ・世界を舞台に活躍できるグローバル人材を育成するため、成田国際高校にグローバルスクールを設置します。また、グローバル人材育成のカリキュラムを開発し、その実践を普及します。

【教育内容等】

- ・海外大学進学コース（仮称）を設置し、海外の大学や国内のスーパーグローバル大学等への進学を指導します。
- ・TOEFL等の積極的な活用や、グローバル人材育成のための新たな学校設定科目の開発、研究、普及を行います。
- ・外国人講師等を活用した授業を行います。
- ・国際交流コーディネーターを配置し、国際交流を推進します。
- ・生徒が留学しやすい環境を整えます。
- ・複数の海外高校と姉妹校提携を結び、留学生を相互に受け入れる体制を整えます。
- ・スーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定を目指します。

※ スーパーグローバルハイスクール（SGH）

SGHは、国際化を進める国内の大学を中心に、企業、国際機関等と連携を図り、グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材の育成に取り組む高校を文部科学省が指定し支援する事業です。

なお、文部科学省は、平成26年度に全国で50校程度を指定する予定です。

(2) 理数に関する学科の設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
木更津	29年度	普通科 理数に関する学科	・理数に関する学科を設置

【再編の内容】

- ・将来の国際的な科学技術系人材を育成するため、木更津高校に理数に関する学科を設置します。(学科名は今後検討します。)

【教育内容等】

- ・大学、研究機関、企業等との連携により、研究者等による講演会・出前授業や、研究施設等における先端技術に触れる機会などを設けます。
- ・探究型の学習を通して、科学的思考力やプレゼンテーション能力を育成します。
- ・海外との積極的な交流により、国際的に活躍できる人材の育成を図ります。
- ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を目指します。

※ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

SSHは、理数系教育の充実を図り、未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして、科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校を文部科学省が指定し支援する事業です。

○県内指定校（県立高校）

- ・柏高校：平成16年度～平成20年度（5年間）
平成23年度～平成27年度（5年間）
- ・船橋高校：平成21年度～平成25年度（5年間）
平成23年度～平成25年度（3年間）は、コアSSHに指定
- ・長生高校：平成22年度～平成26年度（5年間）
- ・佐倉高校：平成25年度～平成29年度（5年間）

なお、コアSSHは、SSH指定校の理数系教育における中核としての機能の強化を図るため、文部科学省が平成22年度から行っている事業です。

2 職業系専門学科・コース

(1) 福祉教育の充実

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
佐 倉 西	29年度	普通科	・福祉に関するコースを設置

【再編の内容】

- ・地域や県全体の福祉教育の充実を図るため、地域バランス等を考慮し、佐倉西高校に福祉に関するコースを設置します。(コース名は今後検討します。)

【教育内容等】

- ・主として、高齢者の介護に必要な専門知識や技術を習得するとともに、介護従事者としての気遣いや配慮、マナーを学習し、将来福祉分野で活躍できる人材を育成します。
- ・近隣に位置する福祉施設や、福祉系大学及び学部との連携により、充実した福祉教育の展開を図ります。
- ・介護従事者等の人材育成及び職業教育の一層の充実を図る観点から、福祉に関する資格取得教育を導入します。

3 総合学科

(1) 総合学科の設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
小 金	28年度	総合学科	・普通科を改編し総合学科を設置

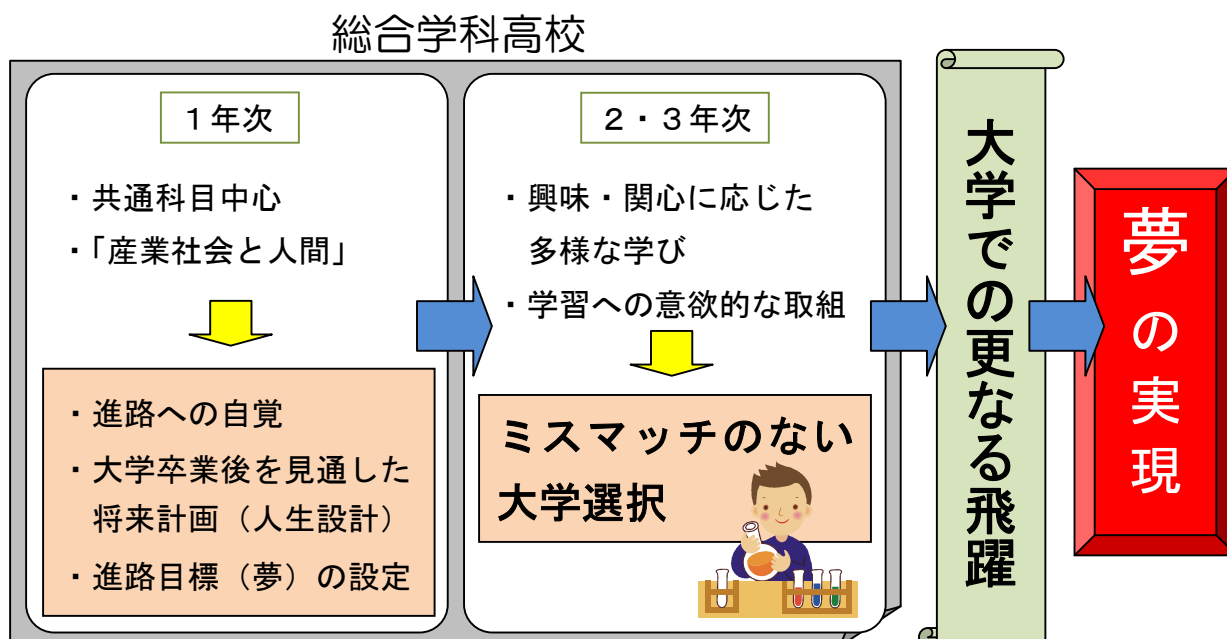
【再編の内容】

- ・生徒の多様な進学希望に対応するとともに、大学卒業後の就業までを見通した職業意識の高い人材を育成するため、**小金高校**の普通科を改編し、進学を重視した**総合学科**を設置します。

【教育内容等】

- ・「産業社会と人間」や総合的な学習の時間を活用し、1年次より、将来の職業選択に応じた大学等への進学が円滑に行われるよう、計画的なキャリア教育を実施します。
- ・単位制を導入し、学期ごとの単位認定を行います。
- ・大学等と積極的に連携し、進学に向けた実力養成講座や課外補習等を実施します。
- ・英語や数学などの共通科目に加えて、生徒の多様な学習ニーズに対応した幅広い選択科目を設定します。
- ・具体的な系列については、設置校の職員で構成する準備委員会において検討します。

《参 考》進学を重視した総合学科のイメージ



4 社会のニーズに対応した教育

(1) 観光に関するコースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備考
鶴舞桜が丘	26年度	農業に関する学科 商業に関する学科	・食とみどり科に緑地管理コース (仮称)を設置

【再編の内容】

- ・地域の自然や産業などを観光資源として、その意義や役割を理解し、地域観光産業で活躍できる人材を育成するため、**鶴舞桜が丘高校**の食とみどり科に**緑地管理コース**(仮称)を設置します。

【教育内容等】

- ・「ターフ管理」などの学校設定科目や、総合的な学習の時間等を活用し、ゴルフのコースメンテナンスやグラウンドキーパーとして必要な知識や技能に関する実習を行い、環境にも配慮できる技術者を育成します。
- ・体験的な学習を取り入れ、マナー・接遇、コミュニケーション能力など、おもてなしの心の醸成を図ります。
- ・大学や行政機関、地域観光産業と連携し、地域の教育力を活用することで、外部講師による講義や、校外学習など実践的・体験的な授業を実施します。

(2) 地域連携アクティブスクールの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
船橋古和釜	27年度	普通科	・地域連携アクティブスクールを設置
流山北	27年度	普通科	・地域連携アクティブスクールを設置

【再編の内容】

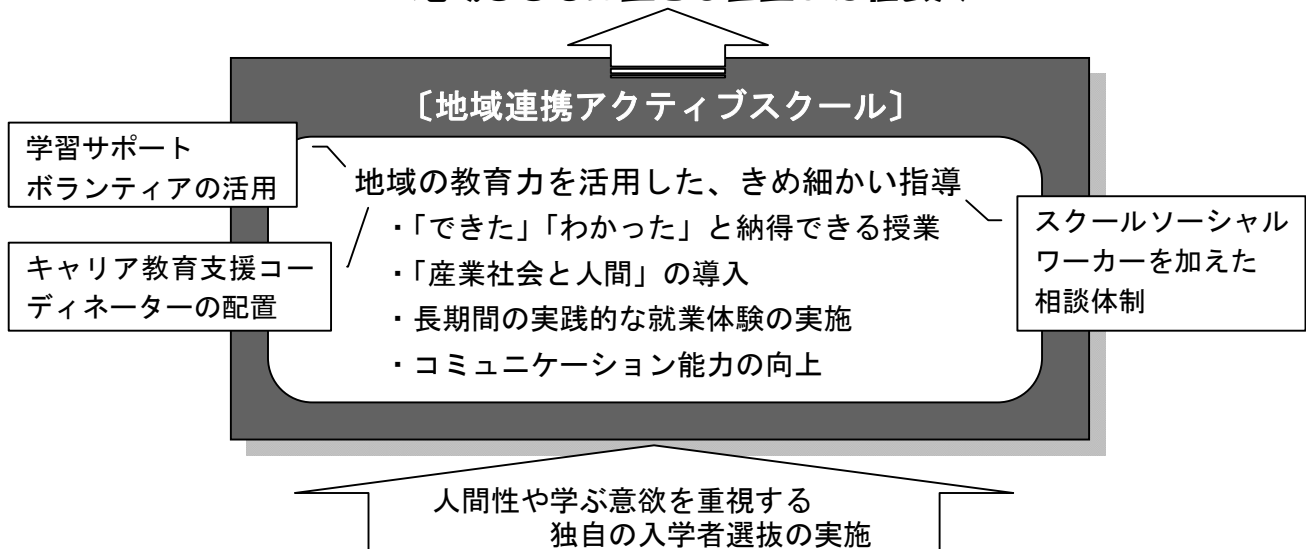
- ・地域との協同により、一人一人の生徒に応じた「学び直し」や「実践的なキャリア教育」を通じて、コミュニケーション能力や倫理観等を身に付け、自立した社会人を育成する地域連携アクティブスクールを船橋古和釜高校と流山北高校に設置します。

【教育内容等】

- ・学び直しをはじめとする、学ぶ意欲に応えるきめ細かな学習指導を行うことにより、基礎学力の定着を図り、生徒の満足度を高めます。
- ・「産業社会と人間」を導入するとともに、コミュニケーション能力を身に付けるトレーニングや、実践的な就業体験を取り入れるなど、充実したキャリア教育を行います。
- ・キャリア教育支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカーなどを配置して、きめ細かな支援体制を整備します。
- ・人間性を重視し、高校で頑張る意欲をみる独自の入学者選抜を実施します。
- ・先行する設置校（泉高校、天羽高校）の実践等で得られた成果を相互に共有し、地域連携アクティブスクールの理念を具現化する仕組みの一層の充実を図ります。

《参 考》「地域連携アクティブスクール」の仕組み

地域とともに生きる自立した社会人



中学校で能力を発揮できなくても、高校では頑張ろうとする意欲を持った生徒

Ⅱ 県立学校の適正規模・適正配置

全日制高校の配置（統合）

学校の規模・配置の適正化を進めるため、引き続き検討します。

【これまでの経緯】

県立高校の適正規模・適正配置については、「県立学校改革推進プラン」において、

【具体計画の方向】として

- 多くの友人・教師との触れ合いやお互いの切磋琢磨の機会を確保し、教育課程の柔軟な編成や活力ある教育活動が展開できるよう、**学校の規模・配置の適正化を進めます。**
 - 1校当たりの適正規模を、原則都市部で1学年6～8学級、郡部で1学年4～8学級とし、**適正規模に満たない学校は統合の対象として検討しますが、学校・地域の状況等により統合しない場合もあります。**
 - 中学校卒業生数が引き続き減少する地域では、活力ある教育活動を維持するため、適正規模の観点から、**5～6組程度の統合を見込んでいますが、学校の適正な配置に当たっては、地域における学校の在り方などについて、生徒や保護者のニーズを踏まえるとともに、私立学校関係者を含めた地域協議会などを設け、地域関係者からも意見を聴きながら、検討を進めます。**
- としました。

これを受けて、平成24年度には、香取、海匝、山武、市原の4地区、平成25年度には、印旛、長生、安房、君津の4地区の合計8地区において、地域協議会を開催しました。各地域協議会においては、地域関係者の方々から、「地域の活性化のためには高校は必要である。」「高校生には切磋琢磨することが必要であり、そのための適正規模を維持するには統合もやむを得ない。」等の御意見をいただいたところです。

これらの地区においては、地域ごとに様々な課題があることから、各校の募集状況等を注視しつつ、引き続き検討を進める必要があります。

とりわけ市原地区においては、「学校が少なくなってしまうことに危機感を感じている。」「このままでは人格形成に必要な教育活動や部活動が成り立つのか心配である。」等の御意見をいただいておりますが、この地区では、平成26年度の時点で、適正規模の下限である1学年4学級規模以下の学校が公立高校6校のうち5校存在し、そのうちの2校については1学年3学級規模で隣接しているなど、喫緊の課題があります。

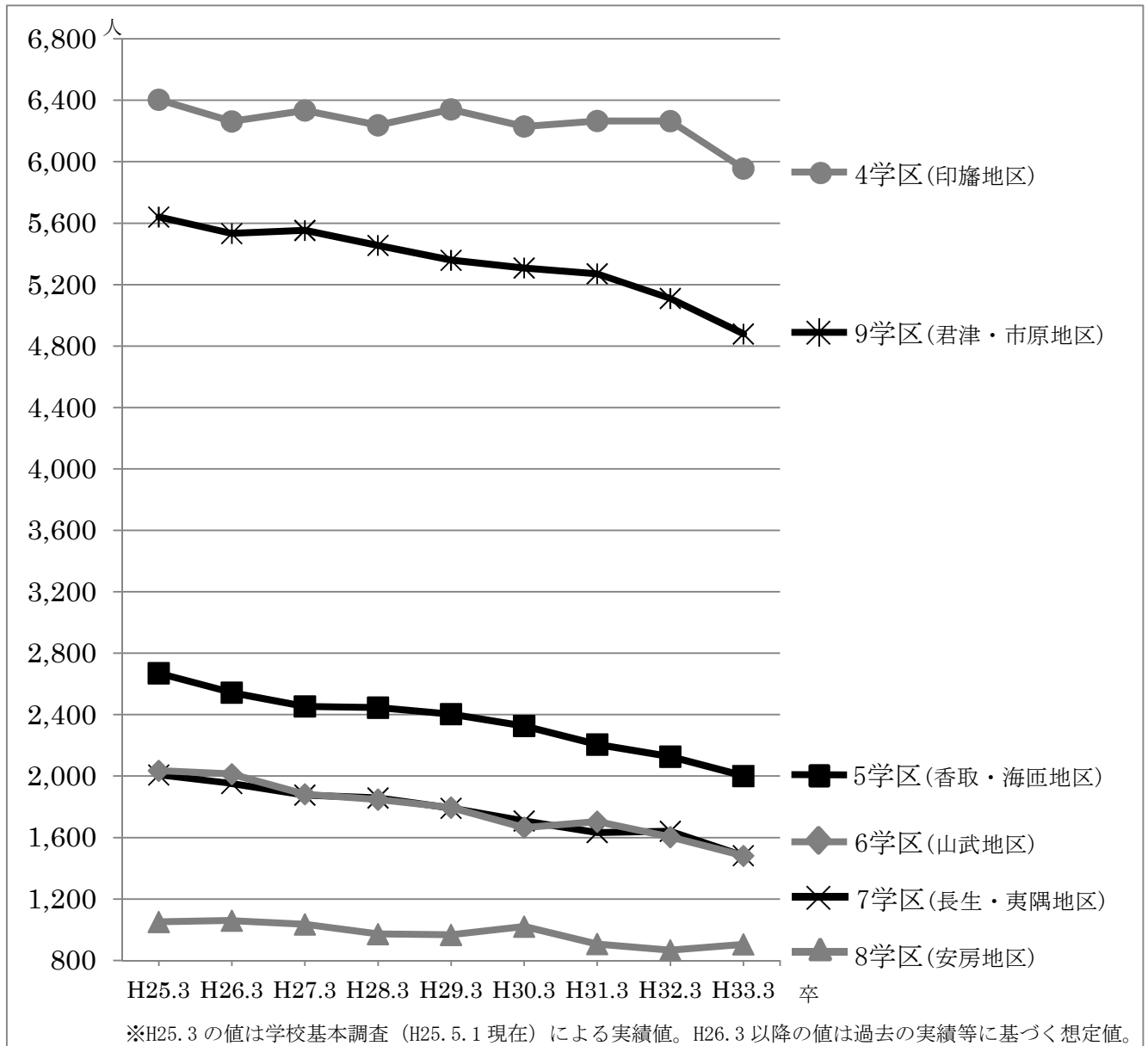
【今後の対応】

中学校卒業生数が引き続き減少する地域では、地域協議会での御意見も踏まえ、統合について引き続き検討することとします。

特に厳しい現状を抱える地区においては、適正規模・適正配置の観点を踏まえつつ、地域の方々にも地域における学校の在り方について主体的に考えていただきながら検討を進めるとともに、各校の募集学級数のバランスや、地域の資源を生かした学校の活性化など、新たな方策も含め引き続き研究し、検討を終えたものから公表していきます。

《関連データ》

○学区別の中学校卒業生数の推移（平成25年～33年）【第4～9学区】



○平成26年度の募集学級数（全日制4学級以下の学校）

学区	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4学級	泉※1	浦安南	清水	印旛明誠 下総	小見川 多古※2 銚子 旭農業	松尾 東金商業 九十九里	一宮商業 大多喜	長狭※2 安房拓心	木更津東、上総 君津青葉、京葉 市原緑、姉崎
3学級			関宿※3				大原※4		天羽※1 市原 鶴舞桜が丘
2学級	生浜※5						岬※4 勝浦若潮 ※4		

※1：地域連携アクティブスクール

※2：コミュニティ・スクール

※3：連携型中高一貫教育校

※4：平成27年度統合

※5：多部制定時制併置

Ⅲ 県立学校改革推進プランの進捗状況

I 魅力ある県立学校づくりの推進

1 普通科及び普通系専門学科・コース

(1) 普通科

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
教員基礎コースの設置	医師、教員、介護従事者等不足	2校	2校
医療系コースの設置	する人材の育成	2校	2校
グローバルスクールの設置	グローバル人材の育成	0校	1校

(2) 英語科、国際科

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
国際コミュニケーションコースの設置	グローバル化への対応	1校	1校
グローバルスクールの設置	グローバル人材の育成	0校	1校

(3) 理数科

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
理数に関する学科の設置	新たに2校程度設置	1校	2校

2 職業系専門学科・コース

(1) 農業科

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
拠点校の設置	農業教育の充実	1校	1校

(2) 工業科

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
拠点校の設置	工業教育の充実	1校	1校
コンソーシアムの設置	工業教育の質を高める	1校	1校
理数工学科の設置	進学を視野に入れた工業教育	1校	1校

(3) 福祉科

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
拠点校の設置	福祉教育の充実	1校	1校
福祉に関するコースの設置	系列・コースを5校程度設置	3校	4校

3 総合学科

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
総合学科の設置	普通科の転換により3～5校程度設置	0校	1校

4 社会のニーズに対応した教育

(1) 単位制高校

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
単位制の導入	進学指導重点校など2校程度に導入	1校	1校

(2) 中高一貫教育校

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
併設型中高一貫教育校・中等教育学校の設置	ニーズ、配置バランス等を踏まえ2校程度設置	1校	1校

(3) 観光・環境・防災に関する教育

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
観光の学びの導入	恵まれた観光資源を活用した教育の推進	1校	1校
観光に関するコースの設置		0校	1校
環境に関するコースの設置	環境教育の推進	2校	2校
防災の学びの導入	防災教育の充実	1校	1校

(4) 地域連携アクティブスクール

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
地域連携アクティブスクールの設置	地域バランスや学校の状況等を踏まえ4校程度設置	2校	4校

(5) コミュニティ・スクール

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
コミュニティ・スクールの設置	学校や地域の実態を踏まえ設置	2校	2校

II 県立学校の適正規模・適正配置

1 全日制高校の配置

形態等	具体計画の方向	第1次完了時	第2次完了時
統合	適正規模の観点から、5～6組程度の統合を見込む	1組3校	1組3校

※第1次は「第1次実施プログラム」、第2次は「第2次実施プログラム」を表し、数値は完了時の累計数を示す。

県立学校改革推進プラン
第2次実施プログラム

平成26年3月

編集・発行／千葉県教育委員会
(企画管理部県立学校改革推進課)
〒260-8662 千葉市中央区市場町1-1
電話 043-223-4019

